

「第二回 旧松上小学校跡地を活用した新病院の開設に関する説明会」 いただいたご意見・ご質問(要旨)

平成26年10月8日、新小岩中学校体育館において「第二回 旧松上小学校跡地を活用した新病院の開設に関する説明会」を開催しました。

当日いただいたご意見・ご質問と回答の要旨は以下のとおりです。

No.	ご意見・ご質問	回答
1	大きい病院では紹介状がないと5000円程度取られるが、新病院ではどうなのか。	他の病院や診療所(かかりつけ医)の医師等の紹介状がなく、初診で200床以上の病院を受診された場合、診察費とは別に特定療養費を徴収します。金額はまだ決まっていますが、新病院でも200床以上になった場合はご負担いただくことになります。これは診療所と病院の役割分担を図るための国の制度であり、ご理解ください。
2	既存校舎等の解体工事の振動により、近隣でテレビや電話の音が聞こえないという家があるという話を聞いた。騒音計を設置してほしい。また、防音シートを設置するという話であったが、それはどうなっているのか。	今後、躯体の解体工事に入る際に、解体場所に近い位置に騒音計を設置します。また、防音パネルを順次設置しています。
3	災害時の対応として考えていることはあるか。近隣のマンションや学校よりも高い建物になるため、地域住民のために何か災害対策を行ってほしい。	病院は災害医療を提供する拠点となるため、災害時の避難施設とすることはできません。ただし、医療の継続を前提としたうえで、地域への協力はできる限り行います。今後、区と明芳会で災害時に関する協定を結んでいきたいと考えています。
4	図面を見ると、私の家は日影になる。日照権に対する補償をしてもらえるのか。	日影の影響ができるだけ少なくなるよう配慮します。また、建築基準法の規定の範囲内で設計していますのでご理解願います。
5	グループの基本方針や基本理念を実践し、いい病院にしてほしい。中途半端な病院であればいい。	理念の実現を目指し、今後も地域への情報提供に努め、いただいたご意見を十分に検討しながら進めていきます。
6	開設時のベッド数はまだ決まっていないのか。300床になった時には別棟を建ててベッドを増やすということか。	現時点では、開設時の病床は200床程度となる予定です。今後、病床を確保できたときは、駐車場のエリアに病棟を増やす予定です。
7	200床だったら8階も必要ないのではないかと。日影になってしまう。	救急の受入れやリハビリ機能、多様な外来機能を担っていくため、相応の設備と施設規模が必要になります。できるだけ日影の影響が少なくなるような設計を考えていきます。
8	小児科の検討状況について具体的に教えてほしい。	開設時の200床規模では小児科の入院機能を持つことは難しいと考えています。診療科目としなくても、お子さんの外傷など可能な限り対応します。小児科外来の設置については、近隣の医療機関と協議し、意向も踏まえ検討していきます。
9	建設工事期間中の車両の出入りが心配である。	建設工事業者はまだ決まっていますが、工事の際には安全第一を徹底させます。車両の出入りのルールについては、近隣の学校などと打合せのうえ決定します。

No.	ご意見・ご質問	回答
10	病院の開設後、車の騒音や渋滞はどうなるのか。出入口の注意喚起をお願いしたい。	現在、警視庁と協議をしており、車の出入口には注意喚起の設備などを設置する予定です。また、できるだけ車が渋滞しないような設計を考えています。
11	救急車のサイレン音について配慮してほしい。	法令で定められているためサイレンを止めることはできません。収容する病院の付近で安全が確保された場合には、音量を絞る等の配慮をしています。
12	代替の広場、運動場を整備してほしい。	区では、公共施設の効果的・効率的な活用を推進しています。旧松上小学校については、学校としての用途を終えた後、活用方法が決まるまでの暫定活用として、地域の皆様にご利用いただいていたが、区内医療環境の課題等を踏まえ、このたび病院用地としての活用を決定したところです。広場・運動場を含め施設の整備については、今後も社会情勢や区民ニーズなどを踏まえ、総合的に検討していきます。
13	どんなに小さなけがや事故もないようお願いしたい。	十分に安全に注意し、工事を進めてまいります。
14	300床規模の病院になると、紹介者のみ受け入れる病院となるのか。この病院はどのような位置づけになるのかわからなかった。	紹介以外の患者様も受け入れます。国は、診療所との役割分担を進めています。今後の国の政策によって左右される可能性があります。
15	リハビリテーションについて、中枢系や整形疾患など、オールラウンドに対応できるようにするのか、一つの疾患に特化するのか。	一般的なりハビリテーションについては、オールラウンドな対応を目指します。神経難病等の特殊疾患については検討が必要です。
16	次回の説明会等も含め、広く地域の方へきめ細かいお知らせをお願いしたい。	今後も地域への情報提供に努めます。また、区のホームページでも随時お知らせしていきます。
17	救急車を呼んでも行く先を見つけるのに時間がかかり、なかなか病院に搬送されないことが多々ある。	救急病院には、重症患者を収容する三次救急病院(救命救急センター等)とそれ以外の入院を必要とする患者を対応する二次救急病院があります。ご質問の病院の選定困難事案について、重症患者は三次救急への速やかな収容体制が図られていますが、二次救急に搬送される患者では、全搬送件数の約2%で発生している状況です。このことから、東京都の医療体制として平成21年8月から「救急医療の東京ルール」を整備し、地域内で速やかに傷病者が医療機関に収容されるような取り組みを行っており、選定困難事案は減少傾向にあります。本件、新病院の開設が、地域に対し貢献することを期待しています。
18	眼科を設置してほしい。	開設時の設置は難しいですが、病院の拡大に伴い検討します。
19	住民はみな良い病院・悪い病院とレッテルをつけるので、できるだけ優秀な先生をお願いしたい。	新病院の規模、機能に応じた人員確保や、医療体制の構築に努めます。
20	人工透析の治療もしてほしい。	人工透析は実施を予定しています。実施規模等は検討中です。